

---

# 2016年3月期第2四半期決算説明会資料

2015/10/26

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

執行役社長 宮崎 正啓

執行役常務 宇野 俊一

## 2016年3月期第2四半期 決算説明会資料

1. 2016年3月期第2四半期(累計)業績ハイライト
2. 経営方針
3. 2016年3月期 業績予想
4. 補足資料

---

# 1. 2016年3月期第2四半期(累計)業績ハイライト

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e)は、前回予想(2015年7月公表値)

\*2015年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。

# 2016年3月期第2四半期業績(累計)(ハイライト)

(億円)

	16/3 2Q実績	前年同期比		前回予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	3,141	+130	+4%	+41	+1%
EBIT	221	△3	△1%	+31	+16%
税引前利益	223	△3	△2%	+31	+16%
四半期利益	169	+0	+0%	+30	+22%
一株利益	123円09銭	+0円26銭		+22円02銭	
一株配当	25円00銭	+5円00銭		±0円00銭	
FCF	+21	△82		△33	

・前回予想(2015年7月公表値)

・実績レート:1USD=122円、1EUR=135円

\*EBIT(Earnings Before Interest and Taxes):税引前利益から受取利息および支払利息を除外した数値。

# 2016年3月期第2四半期業績(累計)(セグメント別)

(億円)	16/3 2Q実績		15/3 2Q実績		前年同期比		16/3 2Q予想 <sup>(e)</sup>	
	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
電子デバイス システム	547	74	522	102	+5%	△27	535	68
ファインテック システム	58	2	45	0	+29%	+2	64	2
科学・医用 システム	854	139	799	130	+7%	+9	814	119
産業・IT システム	394	△2	385	△2	+2%	△0	378	△4
先端産業 部材	1,313	18	1,286	10	+2%	+8	1,338	14
全社合計	3,141	221	(3,129) 3,011	(221) 225	(+0%) +4%	(△0) △3	3,100	191

\*全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

\*全社合計欄の( )内は非継続事業を含んだ数値です。

## 売上収益・EBIT 偏差説明(2015年7月決算発表時比較)

売上収益 ( 3,100億円 → 3,141億円 +41億円 )

- 電子デバイスシステム: 米国顧客向けプロセス製造装置のサービス・部品増等により12億円増加
- 科学・医用システム: 医用分析装置の中国市場向け販売増により40億円増加
- 産業・ITシステム: 車載用ハードディスクドライブの販売増等により16億円増加
- 先端産業部材: 資源価格下落による建設機械の需要減等により25億円減少

EBIT ( 191億円 → 221億円 +31億円 )

- 電子デバイスシステム: 売上収益と同様の理由により6億円増加
- 科学・医用システム: 売上収益と同様の理由により20億円増加

# 2016年3月期第2四半期業績(累計)(財政状態計算書[要約])

2015年9月末 (億円)

			15/3末比				15/3末比
<b>流動資産</b>		<b>3,936</b>	<b>△148</b>	<b>流動負債</b>		<b>1,607</b>	<b>△275</b>
現金および現金同等物	1,524	△15		営業債務	1,049	△167	
営業債権	1,363	△3		その他	558	△108	
棚卸資産	922	+15		<b>非流動負債</b>		<b>468</b>	<b>+0</b>
その他	127	△145		退職給付に係る負債	440	+1	
<b>非流動資産</b>		<b>1,292</b>	<b>+9</b>	その他	28	△0	
有形固定資産	723	+6		<b>資本</b>		<b>3,152</b>	<b>+135</b>
無形資産	127	△5		親会社株主持分	3,149	+135	
その他	442	+9		非支配持分	3	△0	
<b>資産合計</b>		<b>5,228</b>	<b>△139</b>	<b>負債および資本合計</b>		<b>5,228</b>	<b>△139</b>

・一株当たり親会社株主持分 2,289円65銭(15/3末比 +98円33銭)

# 2016年3月期第2四半期業績(累計)

(キャッシュ・フロー計算書[要約])

(億円)	15/1H		15/1H
営業活動に関するキャッシュ・フロー	△49	財務活動に関するキャッシュ・フロー	△36
当期利益	+169	配当金の支払	△35
減価償却費	+52	その他	△1
運転資金	△207	換算差額	+0
法人所得税支払および還付	△97		
その他	+34		
投資活動に関するキャッシュ・フロー	+70		
有価証券および その他の金融資産の取得・売却	△6		
有形固定資産および 無形資産の取得・売却	△53		
その他	+129		
フリー・キャッシュ・フロー	+21		
			15/1H
		現金および現金同等物	
		期首残高	1,539
		増減額	△15
		期末残高	1,524



---

## 2. 経営方針



↑  
ハイテク・ソリューション提供

コア・コンピタンス  
事業創造力

グローバル営業・  
調達力

(商事機能)

技術開発・製造・  
サービス力

(メーカー機能)

バイオ・  
ヘルスケア

## 最注力分野として 重点投資

- 既存事業拡大、新分野・新事業積極展開  
体外診断事業、バイオ関連事業、  
ライフインフォマティクス

社会・産業  
インフラ

## 当社コアコンピタンス として強化

- 基盤ソリューションの更なる活用  
社会・産業を支える科学システム・商事事業、  
再生可能エネルギー等狭義の社会インフラ事業

先端産業  
システム

## 選択と集中による 収益性改善

- 最先端・成長領域に特化  
注力：半導体評価装置事業・プロセス製造装置事業  
撤退：チップマウンタ事業・ボンダ事業

1. 成長分野へのリソースシフトによる事業ポートフォリオ強化
2. 事業領域・地域特性を踏まえたグローバル成長戦略の加速
3. お客様視点での事業創造力の強化

## “Challenge to Change”（変革への挑戦）

全体最適意識の浸透による自律分散型組織運営の実行

お客様の個別化ニーズにきめ細かく応えるべく、  
高度に専門化の進んだソリューションビジネスを推進

---

## 3. 2016年3月期 業績予想

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e)は、前回予想(2015年4月公表値)  
(e1)は、今回予想(2015年10月公表値)

# 2016年3月期業績予想(ハイライト)

(億円)

	16/3予想 <sup>(e1)</sup>	前年同期比		前回予想比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	6,400	+204	+3%	△370	△5%
EBIT	420	△28	△6%	△38	△8%
税引前利益	425	△27	△6%	△35	△8%
当期利益	324	+13	+4%	△20	△6%
一株利益	235円58銭	+9円50銭		△14円54銭	
一株配当	55円00銭	+10円00銭		±0円00銭	
ROE	10.3%	△0.6%		△0.2%	
FCF	+160	△91		±0	

・前回予想(2015年4月公表値)

・想定レート: 1USD=115円、1EUR=130円

# 2016年3月期業績予想(セグメント別)

(億円)	16/3予想(e1)		15/3 実績		前年同期比		16/3予想(e)	
	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
電子デバイス システム	1,059	151	1,059	174	△0%	△23	1,138	198
ファインテック システム	163	4	114	7	+44%	△3	161	5
科学・医用 システム	1,720	233	1,643	261	+5%	△28	1,681	231
産業・IT システム	841	7	849	2	△1%	+6	864	11
先端産業 部材	2,700	33	2,581	22	+5%	+11	2,960	42
全社合計	6,400	420	(6,383) 6,196	(434) 448	(+0%) +3%	(△14) △28	6,770	458

\*全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。 \*全社合計欄の( )内は非継続事業を含んだ数値です。  
\*2015年10月1日に確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度へ移行しており、その影響を織り込んでいます。

## 売上収益・EBIT 偏差説明(2015年4月決算発表時比較)

売上収益 ( 6,770億円 → 6,400億円 Δ370億円 )

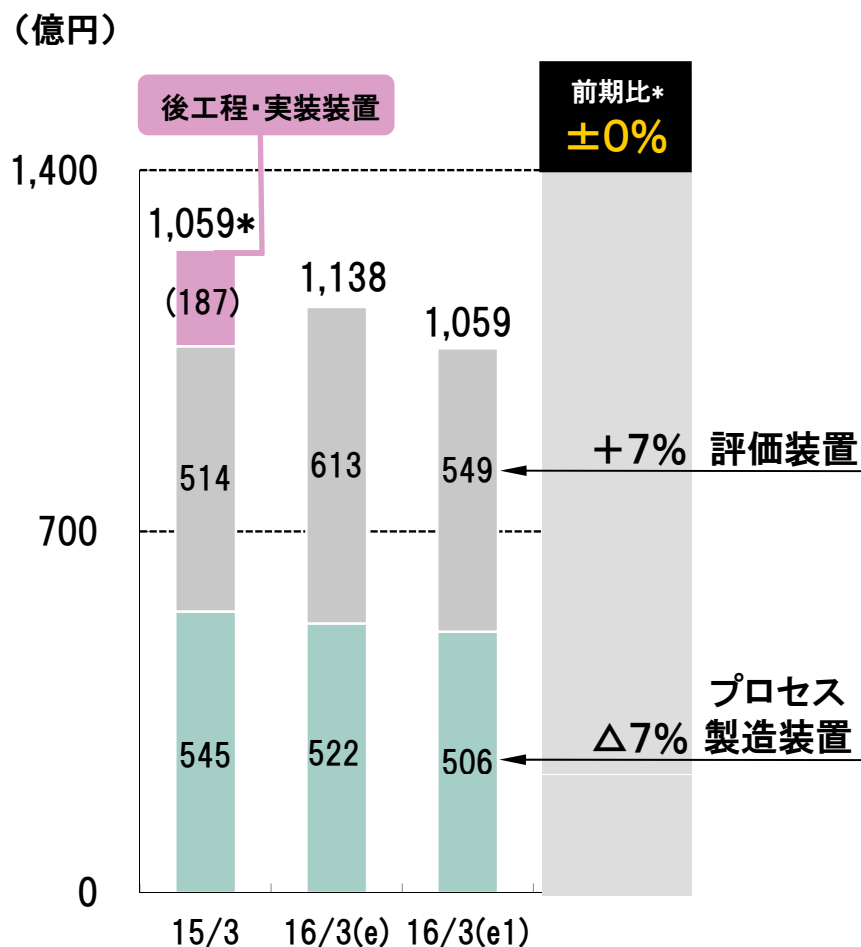
- 電子デバイスシステム： 半導体製造装置の主要顧客の投資時期延伸による販売減等により79億円減少
- 科学・医用システム： 医用分析装置の中国市場向け販売増等により39億円増加
- 先端産業部材： 資源価格下落による建設機械の需要減等により260億円減少

EBIT ( 458億円 → 420億円 Δ38億円 )

- 電子デバイスシステム： 売上収益と同様の理由により48億円減少

# 2016年3月期業績予想(電子デバイスシステム)

## 売上収益の推移



\* 後工程・実装装置含まず

## 事業環境

- MPUの次世代量産プロセス投資が後倒し
- スマートフォン市場の成長鈍化に伴いロジック向け投資計画が減速傾向
- メモリー(DRAM、3D-NAND)向け投資は進行中

## 進捗状況と今後の取り組み

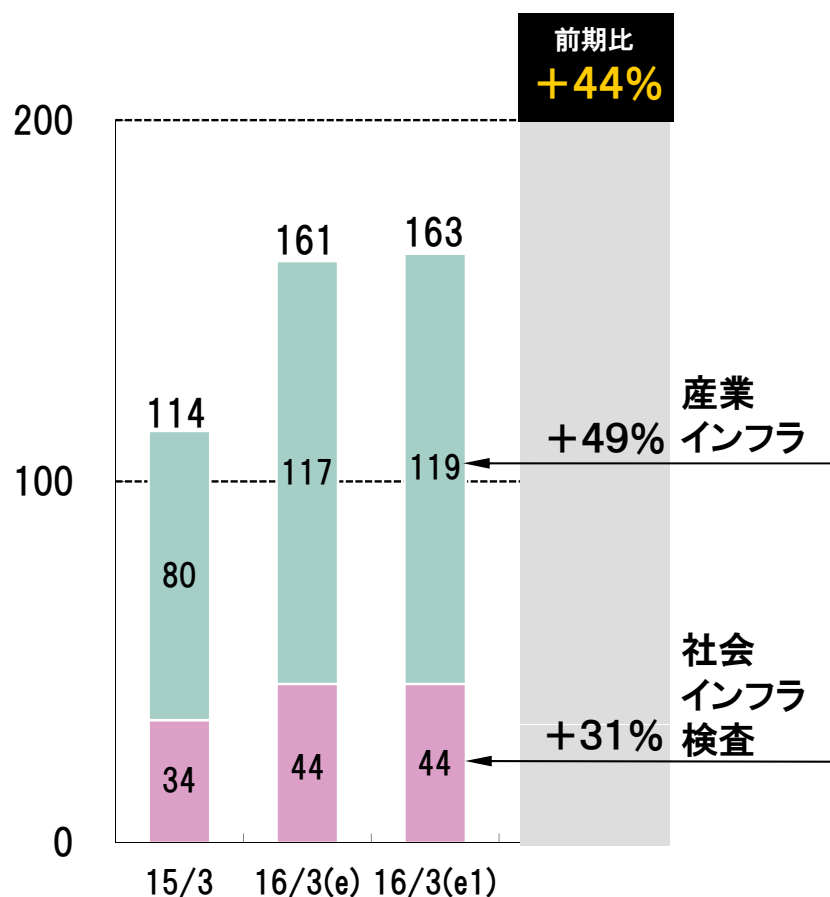
- 特定顧客の投資延期の影響により、当初計画に対して売上収益は7%減なるも、受注は回復傾向
- 多重露光、三次元構造に対応したソリューション提供による顧客価値最大化
  - プラットフォームをベースにしたラインアップ強化
    - 10月:高分解能CD-SEM「CG6300」販売
      - 先端デバイスの開発および量産に対応
- 海外エンジニアリングサイト(米国、台湾)における顧客密着型開発を推進
- コア技術を、IoT、車載、パワーデバイスなど隣接市場・新分野へ展開



# 2016年3月期業績予想(ファインテックシステム)

## 売上収益の推移

(億円)



## 進捗状況と今後の取り組み

### 社会インフラ検査事業

- ・鉄道検測  
営業車搭載検測装置の事業拡大、海外事業展開、周辺設備検査の製品ラインアップ拡充等により業容拡大を加速
- ・新分野(道路・橋梁他)  
高速道路の点検保全システムなど、新たな社会インフラ検査領域を開拓

### 産業インフラ関連事業

- ・自動化設備  
-自動車関連向け設備のほか、先端材料や分析・検査技術分野に展開  
-自社のコア技術に、インクジェット・ロボット等の技術を融合し、高付加価値設備を開発
- ・サービス事業(FPD・HD関連)  
高品位のサービス提供による顧客価値の向上と装置リプレイスによりポストセールス事業を拡大

## 事業環境

### 科学関連市場

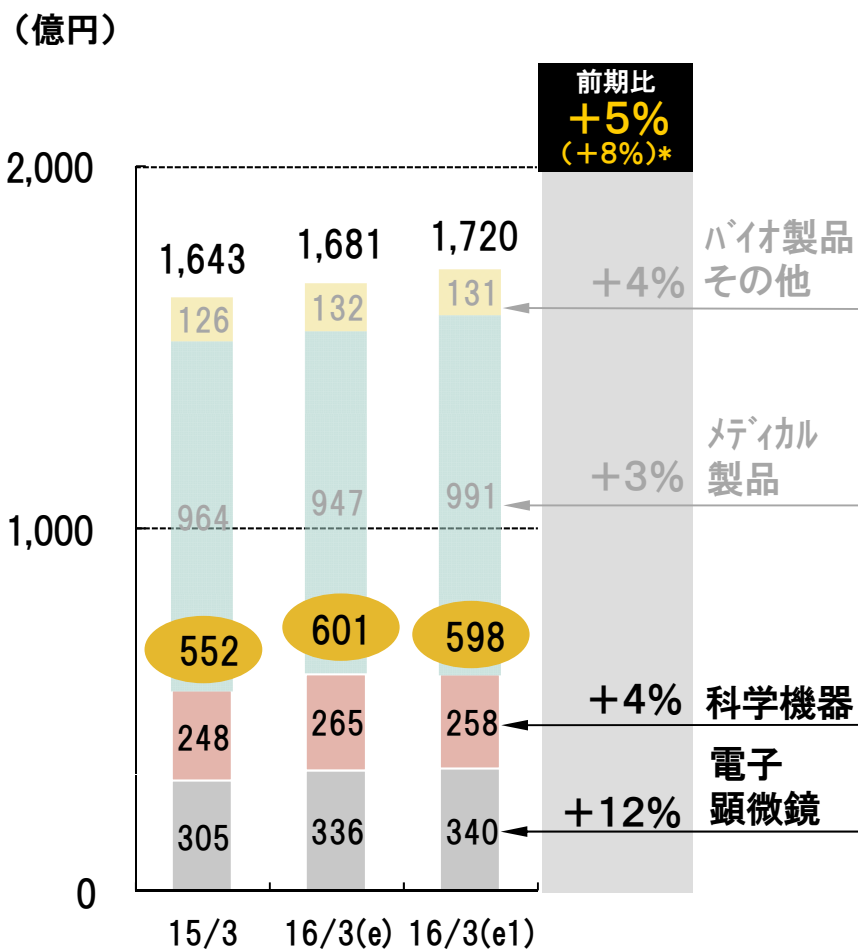
- 電子顕微鏡は、W/Wマーケットは、ほぼ横ばいと予測。中国経済の減速、EU経済の停滞および石油を中心とした資源価格低下による不況などで、世界的に研究費予算が減少傾向
- 分析装置は、引き続き年率2~3%の市場成長を予測(W/W)。燃料電池などの一次電池およびリチウムイオン電池市場が活発化。特に自動車向け二次電池の異物検査や化学工業における高分子材料の構造解析などの需要が増加

### バイオ・メディカル市場

- 生化学・免疫分析市場(試薬+装置)は、試薬需要の伸長により年率約4%成長を継続、装置需要は前年並みと予測
  - 欧州:南欧市場の低迷や主要国の医療費削減により装置更新が先延ばし傾向
  - 米国:装置更新需要の伸びは限定的
  - 中国:医療制度改革により都市部の大規模医療機関を中心に患者数が増加
- DNAシーケンサ市場は、次世代シーケンサにて年率10%以上の成長が継続と予測
- CE\*シーケンサは、足元のリプレース需要はあるものの、年率3~5%程度の減少を予測

# 2016年3月期業績予想(科学システム事業)

## 売上収益の推移



\* 科学システム事業の前期比

## 進捗状況と今後の取り組み

- ボリュームゾーンへの戦略的新製品の投入・拡販と継続的な開発促進

【2015年度1Q, 2Qに市場投入済の主な新製品】

- ・6月 3次元解析FIB-SEM NX9000
- ・7月 走査型白色干渉顕微鏡 VS1000 シリーズ
- ・9月 大気圧SEM AeroSurf1500
- ・9月 分光蛍光光度計 F-7100
- ・9月 紫外可視近赤外分光計 UH4150AD 他

- リチウムイオン電池／燃料電池用異物検査装置の拡販による環境・新エネルギー分野の深耕

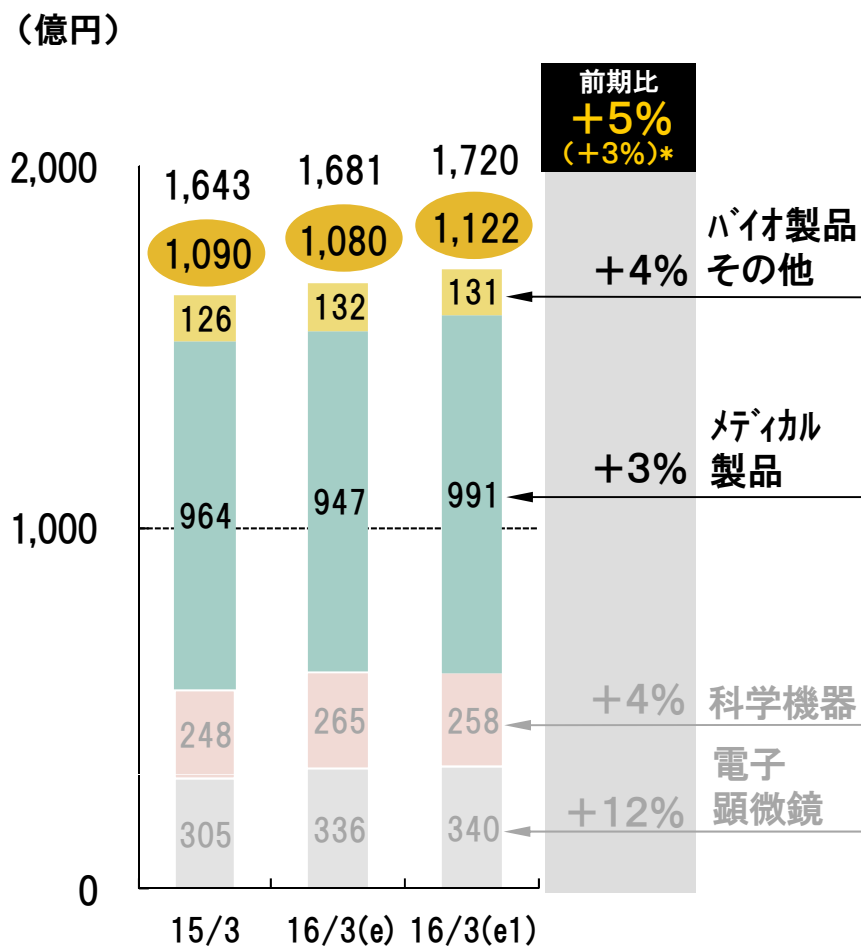
- ・リチウムイオン電池検査分野に多数納入済
- ・燃料電池用検査分野への販売拡大推進

- グローバルマーケティング強化と販売網活用によるワールドワイドでの拡販

- ・海外58社と科学機器販売代理店契約を締結
- ・代理店支援体制強化による拡販推進

# 2016年3月期業績予想(バイオ・メディカル事業)

## 売上収益の推移



\*バイオ・メディカル事業の前期比

## 進捗状況と今後の取り組み

■ 中国向けを中心に免疫自動分析装置が販売好調

■ 欧米向け新製品発表

・cobas8000シリーズ高速免疫検査モジュール e801を欧州(6月パリ)での学会にて発表



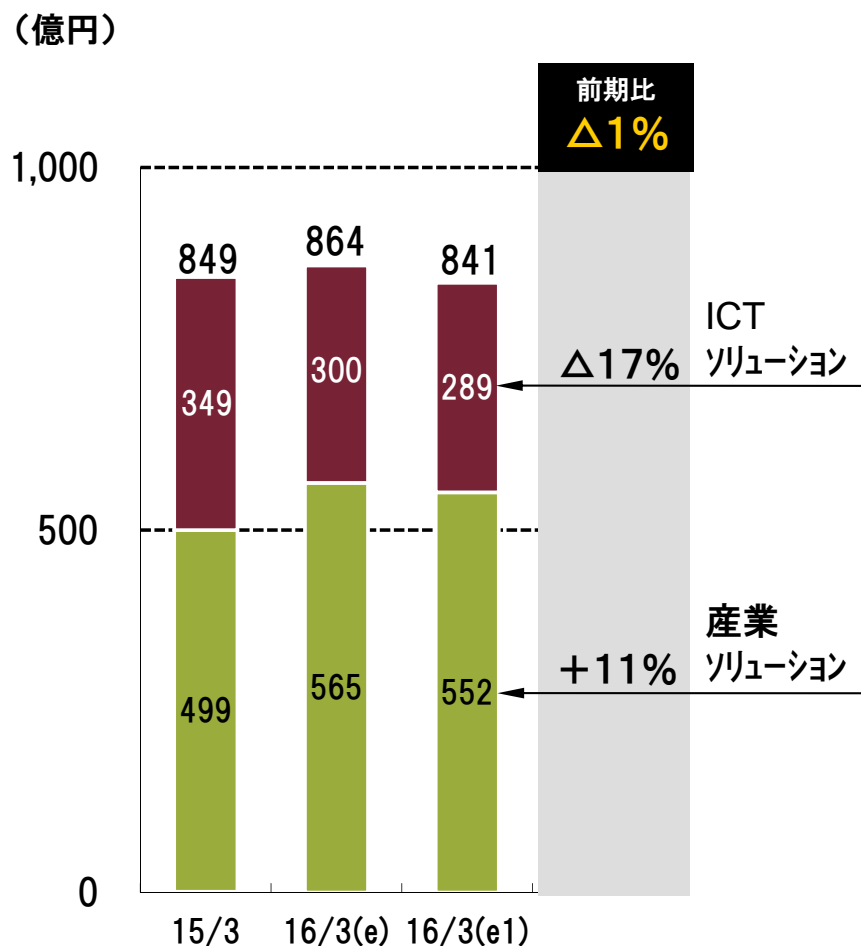
2016年に欧州から順次販売展開の予定

・欧米向けHbA1c専用装置(糖尿病検査) cobas c513を欧州および米国(7月アトランタ)での学会にて発表。10月に発売開始

■ 独QIAGEN社との協業による遺伝子検査市場への参入

・遺伝子検査システム(装置+試薬)、診断用DNAシーケンサの共同開発

## 売上収益の推移



## 進捗状況と今後の取り組み

### 産業ソリューション

- ・系統接続保留による太陽光コンポーネント案件減
- ・顧客の旺盛な設備投資により、自動車関連組立装置の案件取り込みに注力
- ・総合計装システムの更新需要取り込み
- ・Etrion社(スイス)とのメガソーラー共同事業(EPC\*)の拡大
  - 水戸市(茨城県)サイト発電開始(2015年8月)
  - 雫石町(岩手県)サイト竣工(2016年12月予定)

ハル水戸太陽光発電所

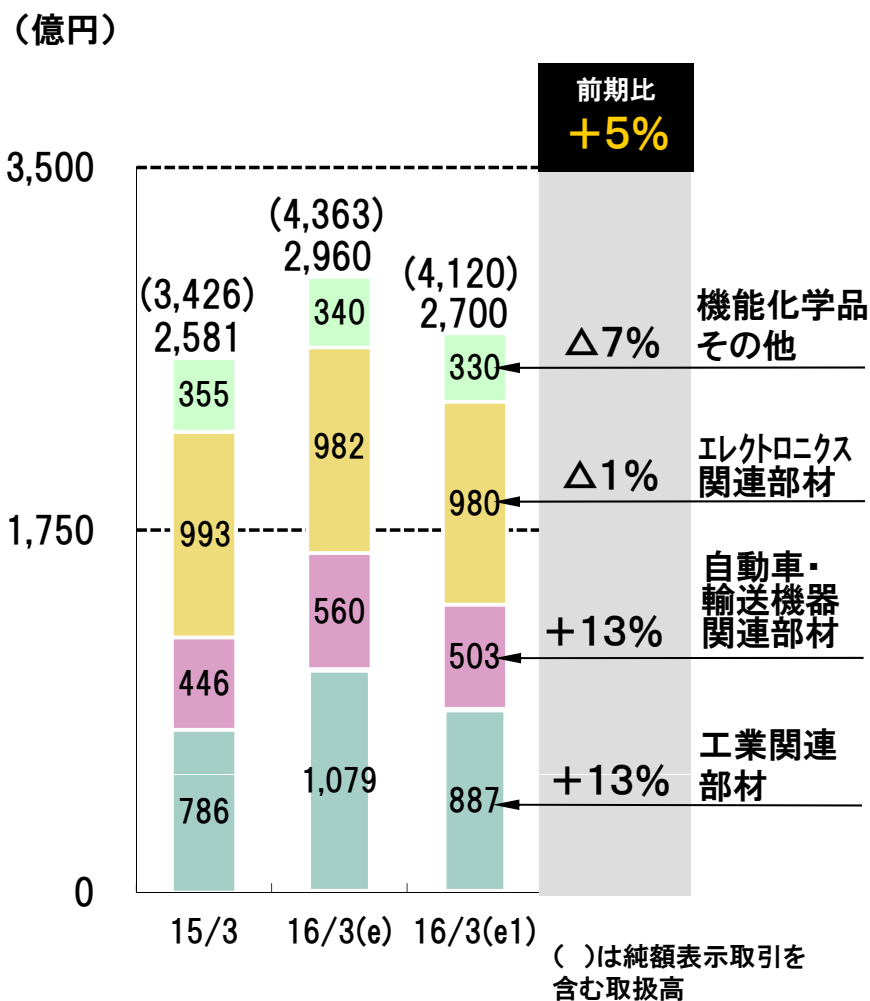


### ICTソリューション

- ・自社ソフト事業の最適化(日立グループ会社への事業移管)
- ・欧州向け車載用ハードディスクドライブの拡販
- ・IoTソリューション事業の日立グループとの協業拡大
- 日立ソリューションズ総合運用管理JP1との連携等

# 2016年3月期業績予想(先端産業部材)

## 売上収益の推移



## 進捗状況と今後の取り組み

### 事業環境

資源価格下落による建設機械の需要減、中国・アセアンにおける自動車市場の減速など、当初予想より厳しい見込み

### 高付加価値事業に注力

アセアンにおけるエレクトロニクス関連分野でのEMS受託製造事業の拡大・強化

### 事業投資戦略の推進

- ・国内化学メーカーへの出資による業務提携  
→新分野・市場開拓の推進
- ・メキシコ・ブラジル自動車部品関連企業との協業

### サプライチェーンソリューション事業の展開

- ・ロジスティクス、ファイナンスを含む機能拡充とグローバル展開を加速

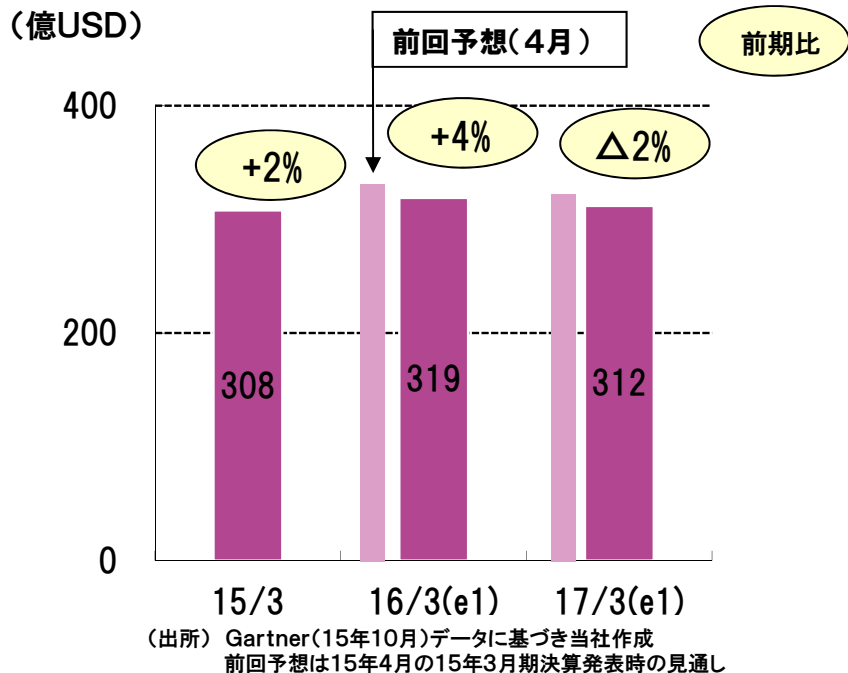
---

## 4. 補足資料

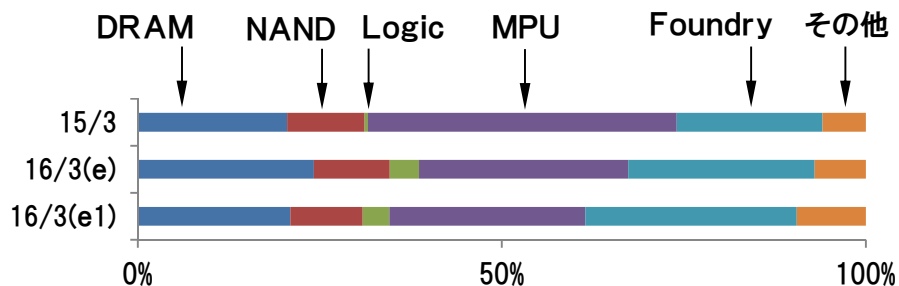
(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e1)は、今回予想(2015年10月公表値)

# 市場動向と受注高推移(電子デバイスシステム)

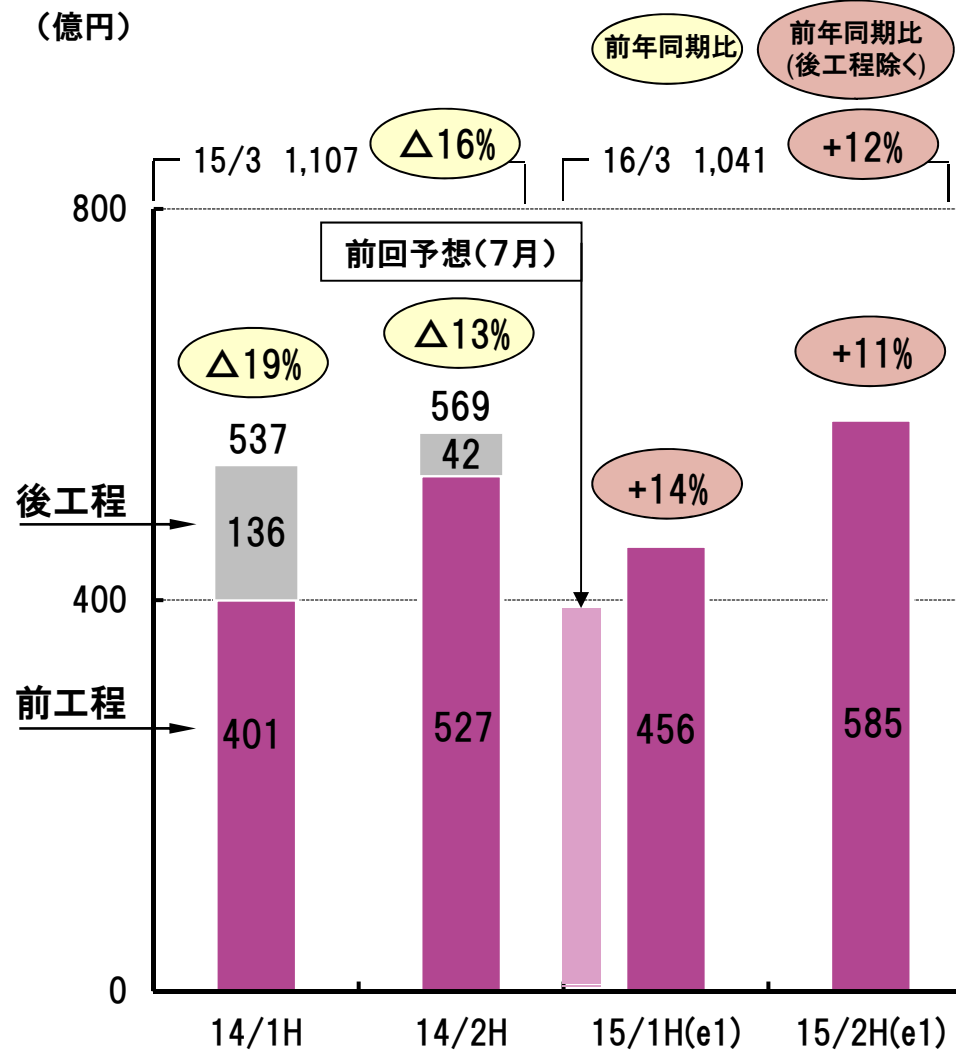
## 半導体製造装置市場(前工程)



## 前工程装置 分野別売上収益比率



## 受注高の推移





# 四半期業績の推移

(億円)

		14年 1Q	14年 2Q	14年 3Q	14年 4Q	15年 1Q	15年 2Q		
売上収益 ／ EBIT	電子デバイスシステム	売上収益	294	228	217	321	284	263	
		EBIT	81	21	31	41	55	19	
	ファインテックシステム	売上収益	13	31	19	50	16	41	
		EBIT	△5	5	0	6	△3	4	
	科学・医用システム	売上収益	388	411	399	445	404	450	
		EBIT	67	63	67	65	63	76	
	産業・ITシステム	売上収益	173	212	185	278	170	224	
		EBIT	△9	7	△4	8	△3	1	
	先端産業部材	売上収益	643	644	648	647	643	670	
		EBIT	6	4	7	5	9	9	
	その他・調整額	売上収益	△14	△12	△9	△13	△12	△13	
		EBIT	△2	△12	1	△5	△4	△6	
	合計		売上収益	1,497	1,514	1,458	1,727	1,506	1,635
			EBIT	138	87	102	121	118	103
税引前利益			139	88	103	122	119	104	
親会社の所有者に帰属する当期利益			96	73	73	69	77	92	

\* 2015年3月期の売上収益、EBIT、税引前利益の数値は、継続事業のみを表示しています。

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費 / 地域別売上収益

## ■設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	14/1H	15/1H	前年 同期比	15/3	16/3 (e1)	前年 同期比
設備投資額	67	62	△7%	145	130	△10%
減価償却費	52	52	+0%	106	110	+4%
研究開発費	98	98	△1%	196	212	+8%

(注)設備投資額は取得ベースにて記載

## ■地域別売上収益

(億円)

		日本	北米	欧州	アジア	中国大陸	その他	計
14/1H	売上収益	1,207	357	508	906	368	34	3,011
	構成比率	40%	12%	17%	30%	12%	1%	100%
15/1H	売上収益	1,226	311	457	1,116	456	30	3,141
	構成比率	39%	10%	15%	35%	15%	1%	100%

# 主要製品群別売上収益の状況

(億円)

	14年1Q	14年2Q	14年3Q	14年4Q	15年1Q	15年2Q
<b>電子デバイスシステム</b>	294	228	217	321	284	263
プロセス製造装置	158	129	123	136	153	127
評価装置	136	99	94	185	129	136
その他	—	—	—	—	2	1
<b>ファインテックシステム</b>	13	31	19	50	16	41
社会インフラ検査	1	5	4	24	5	11
産業インフラ	13	26	15	26	11	30
<b>科学・医用システム</b>	388	411	399	445	404	450
電子顕微鏡	45	93	67	100	56	96
科学機器	47	63	52	86	45	72
メディカル製品	260	222	253	230	270	250
バイオ製品その他	36	34	27	29	33	32
<b>産業・ITシステム</b>	173	212	185	278	170	224
産業ソリューション	70	130	109	190	90	142
ICTソリューション	103	82	76	88	80	81
<b>先端産業部材</b>	643	644	648	647	643	670
工業関連部材	192	192	199	203	202	203
自動車・輸送機器関連部材	103	109	118	116	118	127
エレクトロニクス関連部材	258	246	246	244	242	269
機能化学品その他	90	97	85	84	81	71

<資料取り扱い上の注意>

- 本プレゼンテーションで述べられている決算概要および業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。
- 当社が開示する将来の業績見通しや戦略等に関する予想は、開示時点で知りうる情報や合理的と思われる前提をもとに策定しており、さまざまな外部要因による直接的・間接的な影響により、実際の当社の業績等が開示内容と異なる可能性があります。但し、開示内容との間に大きな乖離がある場合は、法令や証券取引所が定める適時開示規則並びに当社の自主的な判断に基づき、その都度開示していきます。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

---

## 2016年3月期第2四半期決算説明会資料

お問合せ先  
CSR本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部  
部長 横井 芳人  
TEL:03-3504-5138 FAX:03-3504-5943  
E-mail: [yoshito.yokoi.jp@hitachi-hightech.com](mailto:yoshito.yokoi.jp@hitachi-hightech.com)